

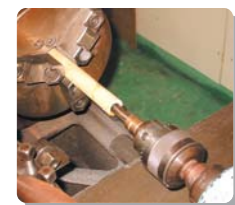
スズキの木製リコーダーはすべて手作り。
工場で生産する、というイメージではなく、工房で職人が
1本1本のリコーダーに気持ちを入れて作りこむ、
というイメージで捉えてください。
あなたが求めているリコーダーが必ず見つかるはずです。

製品のお見積り、お問い合わせはこちらまで 担当/徳永

スズキのリコーダー

<http://www.suzuki-music.co.jp/recorder/>

作業工程



1 内径を削る
専用のリーマという刃物を使って内径を少しずつ削ります。



2 外径を削る
図面通りに外形を削ります。



3 着色
柘植には着色します。
*着色仕様のみ



4 窓を開ける
ノミで窓を開けます。



5 ウィンドウェイを削る
専用の工具でウィンドウェイを削ります。



6 鳴りを調整する
ウィンドウェイ、ブロック、エッジを削って鳴りを調整します。



7 ブロックを入れる
ブロックを少しずつ削りながら入れていきます。



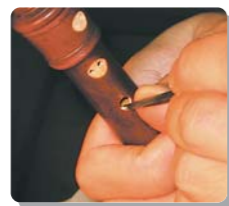
8 吹き口を形成する
糸鋸、ナイフで吹き口の形を作りします。



9 鳴りを仕上げる
ブロックやウィンドウェイを削って鳴りを仕上げていきます。



10 指孔を開ける
ボール盤で指孔を開けます。



11 最終調整
ひとつひとつ鳴らしてみても全体的に調整を行います。



12 これが完成品です。

木製リコーダーの製作者は教科書にも紹介されています

中学校音楽の教科書「平成18年発行 教育芸術社 中学生の器楽」に、弊社木製リコーダーの製造工程が紹介されており、製作者が楽器に込めた思いについて語っています。スペシャリストの手によって生まれる音色をご堪能ください。

○世界を舞台に活躍しているリコーダー奏者、山岡重治氏に推薦の言葉をいただきました。

推薦の言葉

PLUMAリコーダーは、バロックの貴重な名器 Stanesby Jr.の作品を設計仕直したものです。最適な息圧とタンギングのしやすさを追求した結果、とても演奏しやすい楽器に仕上がっています。今までうまく吹けなかった人も、リコーダーにもう一度チャレンジしてみてください。



山岡重治

山岡 重治 リコーダー奏者・製作者

上野学園大学講師。1975年ブルージュ国際音楽コンクールおよび、1978年ミュンヘン国際音楽コンクールのリコーダー部門に入賞後、楽器製作にも力を注ぎ、オリジナル・リコーダーの普及に努める。現在活躍中の世界各国の演奏家に楽器を製作している。

お問い合わせ



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 浜松市中区領家 2-25-12
TEL.053-461-2325 FAX.053-463-5858

札幌 011-551-8911 | 仙台 022-244-3121 | さいたま 048-710-7178
東京 03-5792-8051 | 浜松 053-463-6602 | 名古屋 052-703-7715
大阪 06-6190-7911 | 高松 087-837-6070 | 広島 082-509-2225
福岡 092-573-7251 | 熊本 096-367-8381

●仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更する場合があります。●製品の色は印刷の関係で多少、実物と異なる場合があります。●消費税額は、1円未満を切り捨てて表示しています。●記載の価格は2010年4月10日現在の価格です。

0104-5B-TYP-WI-005-B

<http://www.suzuki-music.co.jp/>
インターネットでスズキホームページをご覧ください。



SUZUKI RECORDERS

PLUMA & STANESBY Jr.
Original Copy Model

教材 教材機能別分類表「リコーダー 一式」該当品

